

復活節第2週 主日礼拝

2017年4月23日

第一礼拝(午前8:00~) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(休会)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『ダニエル書』7章13-14節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌9「力の主を」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	司会者	
感謝の賛美	新聖歌127「墓の中に」	—	同
聖書朗読	『ルカの福音書』2章13-35節(新約169頁)	司会者	
黙想	—	同
説教	「シーソーは終わった」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌38「わが目を開きて」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	片山麻美姉	
諸案内	司会者	
諸報告	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地こぞりて」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司会	会：片山浩司兄 会：小山千春姉	音響・録音：山崎敬典兄	C S 担当：佐藤繁実兄
映像	映：近牧師、男性信徒	説教の録画：近伸之牧師	掃除：小山千春姉

説教メモ

- 1) エマオに向かう二人の、堂々巡り(シーソー)の議論。イエスが近づいてくださったとき、それは終わった。
- 2) イエスは正体を明かさず、彼らも気づかない。神はあえて、私たちが自ら「気づく」まで忍耐強く待たれる。
- 3) み言葉が語られるとき、主はそこに生きておられる。目には見えなくなっても、み言葉と共に臨在される。

先週の暗唱聖句

「私たちはイエスが死んで復活されたことを信じています」
(『テサロニケ人への手紙 第一』4章14節)

今週の暗唱聖句

「彼らの目が開かれ、イエスだとわかった」
(『ルカの福音書』24章31節)

個人、団体からの来信

2017年4月23日

東京基督教大学より、支援感謝に伴う諸報告/新潟福音放送協力会より、会計報告ほか/
新潟地区TCU支援会主催、「聖書考古学 特別講演会」のご案内[下越地区は5月13日(土)午後開催]/
同盟教団より青年宣教大会のパンフレット/【訃報】北條和人先生が4月20日に召天されました

先週の集會出席者数

4/16(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児- 成人男性-			
		幼児女子3 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児4 成人女性3			
	第一礼拝	男3 女4	4/17(月)	実用書道教室	男2 女10(内求3)
	イースター礼拝	男13 女24 計37	4/17(月)	月曜家庭集會	(休会)
	(子ども)	男児1 女児4	4/19(水)	救 禱 会	男3 女5
	夕 拝	(休会)	4/21(金)	しゃべり場タビタ	女3 男児- 女児-
			4/21(金)	金曜祈禱会	男- 女2

諸集會のご案内

	※月に一回、実用書道教室を開催		
4/24(月)午後8:00	月曜家庭集會	山崎 岩雄兄宅	
4/26(水)午後7:30	阿賀野祈禱会	教会堂	司会：小山 千春姉
4/28(金)午後1:30	しゃべり場タビタ	渡邊 智子姉宅	問合せ先：小山 千春姉
4/28(金)夜	金曜祈禱会	教会堂	

4/30(日) 復活節第3週			
第一礼拝	司会：近伸之牧師	音響：片山勝三兄	
午前8:00	説教	献金：沼田佐代子姉	
教会学校	午前9:00	担当：片山初子姉	
第二礼拝	司会：山崎敬典兄	音響・録音：伊東一馬兄	感謝祈禱：片山浩司兄
午前10:30	会：笹川清子姉	片山健司兄	
	映像：近伸之牧師	説教の録画：近伸之牧師	掃除：笹川清子姉

礼拝について	聖書：『使徒の働き』1章3-14節		
午後の予定	宣教区会議	午後4:00~	新潟福音教会
夕拝	※諸般の事情により、夕拝は休会とします		

報 告

1. 本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝します。この後は昼食をいただき、午後2:00より会堂で賛美練習を行います。指導して下さる木南明子先生そして参加するひとり一人に主の守りがありますように。
2. 先週の来会者
4月16日(日)イースター特別礼拝に、戸井邦文さん、戸井愛子さん、中村 正さんが出席されました。また、午後の墓前記念会には、箱岩千代子さん、山崎豊光さんも参加してくださいました。感謝します。
3. 訃報
引退教師の北條和人先生が、4月20日に召天されました。ご遺族の上に主の慰めがありますように祈りましょう。なお、詳細は掲示してある連絡文書をご覧ください。

一般によく言われることですが、「目標を持つ」ということは、どんな場合でも大切です。勉強にしても仕事にしてもそうだと思いますね。砂場で、砂をうずたかく盛り上げて遊んでいた坊やに、「何をしてるの」と訪ねると、「これからお家をつくるの」と答えてくれました。これも、「家をつくる」目的で、砂を盛り上げているということになります。

犯罪を犯した囚人に、レンガを積む刑があったと聞きます。こちらにうずたかく積んだレンガを、あちらに積み直せと命じられます。やっとの思いであちらに積み終わると、また、こちらに戻せと命じられます。まったく目的のない仕事に就かされるのです。囚人は、しまいには気がおかしくなってしまうこともあるのだそうです。

さて、聖書に、このような言葉があります。
「私は、すでに得たのでもなく、すでに完全にさされているのでもありません。ただ捕らえようとして、追求しているのです。うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです」
(ピリピ人への手紙3:12-14)

私たちの最終に行き着く所は死ではありません。神がキリストによってあなたのために備えてくだ

さった栄冠を受けることです。マラソンの優勝者が月桂樹の冠をかぶるように、神は、人生のマラソンを走り終えるあなたのために、栄えの冠を用意しておられます。

こんな話を聞いたことがあります。工事場に働く三人の人にそれぞれ尋ねたそうです。まずAさんに、「いったいあなたは何をしていますか」と尋ねると、こう答えました。「ごらんの通りさ。レンガとレンガの間にセメントを詰めてレンガを重ねているんだよ。」Bさんに同じ質問をしました。するとBさんは、「ごらんのように、レンガで壁を作っているのさ」と答えました。続いてCさんに同じように聞きました。すると彼は、「ビルを作っている。やがて立派な中学校の校舎ができるんだ」と答えたとそうです。

さて、「人生を何のために生きているのですか」という質問に、あなたはどのように答えられるでしょうか。最後のゴールがはっきり見えてくると、今の苦労にも意義を感じることができ、喜びさえ湧いてきます。ゴールは先のことだししないで、今ははっきりさせることこそが、明日につながります。



2017年度教会目標 「受けるよりも与えることを」

「主イエスご自身が、『受けるよりも与えるほうが幸いである』と言われたみことばを思い出すべきことを、私は、万事につけ、あなたがたに示して来たのです」

(『使徒の働き』20章35節)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中です。
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



4/29(土)「Evergreen~永遠に~」竹下 静さん

シンガーソングライターの竹下静さんは、昨年、旧約聖書の詩篇からインスピレーションを受けて作ったというアルバム「Evergreen~永遠に~」をリリースしました。竹下さんは、神様に愛されている喜びを歌をとおして伝えたいと、活動を続けてきました。昨年11月に東京で行われた「Evergreen ツアーライブ」から歌をお届けするとともに、お話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata
BEGIN。ここから始まるあなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、
『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: info@toyosakakyokai.net

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

